

Information
**第46回電源地域
 振興担当者講習会
 を開催します**

平成29年1月13日(金)の午前10時から午後5時まで、東京・築地の全国情報サービス産業厚生年金会館(ＪＪＫ会館) 2階多目的ホールにおいて第46回電源地域振興担当者講習会を開催します。

この講習会は当センターが主催で開催しており、毎回、全国の電源地域立地市町村をはじめ、地域振興に関係ある皆様にご案内しております。国の諸政策や、専門家による講演、事例発表など、地域振興関連の諸情報を得ることができる、毎回ご好評いただいているものです。



昨年の電源地域担当者講習会

今回の講習会では、経済産業省地域経済産業政策課、復興庁、資源エネルギー庁電力基盤整備課、資源エネルギー庁原子力立地・核燃料サイクル課、総務省地域力創造グループ地域政策課から平成29年度の各予算(案)や政策等についてご説明をいただきます。

また、東北経済産業局東日本大震災後の復興状況と課題、日本原子力発電株式会社廃止措置プロジェクト室から廃炉計画に関する基調講演をいただく予定です。

【お問い合わせ】
 地域振興部 振興業務課
 (研修事業担当)

☎03-6372-7305
 ①www2.dengen.or.jp/html/works/kensyu/index.html
 ✉kensyu@dengen.or.jp



当センターでは、平成29年1月にNo.4「地域農業の活性化策を学ぶ」、2月にNo.5「地域の特産品のブランド化支援」の研修を実施する予定です。

No.4「地域農業の活性化策を学ぶ」の開催日は平成29年1月27日(金)、定員は20名です。

本研修では、日本の農村地域の農業の現状および国の政策等の観点から、これからの地域農業の目指す方向や活性化策(6次産業化、農商連携)ならびに新しい農業ビジネスについて学びます。

研修講師はNPO法人えがおつなげて代表理事の曾根原久司氏、奈良先端科学技術大学院大学の光井将一客員准教授を予定しています。

No.5「地域の特産品のブランド化支援」は平成29年2月に予定しています。本研修では、売れる商品と売れない商品の違いがどこにあるか、バイヤーが仕入れた商品とは何かを成功例、失敗例を元に学びます。また、

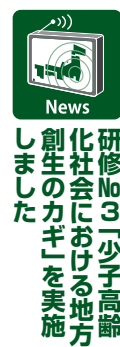


研修No.3「少子高齢化社会における地方創生のカギ」講師との意見交換

地域特産品開発のポイントや売れる商品づくりのノウハウ、販路開拓を行う上での基礎知識等、地域の特産品のブランド化支援などについて学びます。

【お問い合わせ】
 地域振興部 振興業務課
 (研修事業担当)

☎03-6372-7305
 ①www2.dengen.or.jp/html/works/kensyu/index.html
 ✉kensyu@dengen.or.jp



電源地域振興センター会議室において、研修No.3「少子高齢化社会における地方創生のカギ」が開かれました。

第1日目は、法政大学名誉教



研修No.3「少子高齢化社会における地方創生のカギ」ワークショップ

授の岡崎昌之先生より、『地域は消えない〜少子高齢化を見据えた新しいまちづくり〜』というテーマで基調講演していただきました。講演で岡崎先生は、「人口減少社会を乗り越えていくためには、『応援人口』、『関心人口』、『活躍人口』をいかにして増加させるかが大事」といった視点を強調されました。さらに、そのための自治体と住民のとの協働の重要性についてお話しされました。

それに続いて、株式会社kedama代表取締役の武田昌大氏、みんなの孫プロジェクト代表の水柿大地氏による過疎地域における地域活性化の取り組みをご紹介します。武田氏からは、クラウドファンディングを活用した地域振興の取り組みについてご紹介いただきました。また、水柿氏からは、地域おこし協力隊としての活動経験をもとにした地域づくりの取り組みをご紹介します。

翌日は、「少子高齢化の波を乗り越える」というテーマでのワークショップを開催し、

参加者たちが意見やアイデアを出し合いました。

事後、参加者からは「プロジェクトの進め方、アイデアの出し方、アピールの仕方など、新たな視点からの提案がとても勉強になった」、「自分の町には何が足りないのか知ることができた」などの感想をいただきました。

【お問い合わせ】
地域振興部 振興業務課
(研修事業担当)
☎03-6372-7305
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/kensyu/index.html
✉kensyu@dengen.or.jp



「地元開催型」の「産品相談・商談会」が相次いで開かれました

当センターの「産品相談・商談会」事業は、様々なメニューを用意しています。そのなかで「地元開催型産品相談・商談会」は、皆様の地元で実施できるオーダーメイド型の事業として、毎回ご好評をいただいているメニューのひとつとなっています。本年度は、12月末現在で、香川県丸亀市、新潟県魚沼市、和歌山県田辺市、千葉県銚子市の4市が、この「地元開催型」の「産品相談・商談会」を開催していただきました。

平成28年10月13日(木)・14日(金)の2日間、丸亀市の生涯学習センターで開かれた「丸亀『食』の相談・商談会」では、10の事業者の皆様が参加されました。面談では2名のアドバイザーによる事業者の産品についてのアドバイスがあり、その後、フールドコンサルタントの高橋貞男氏より講演がありました。参加事業者のほとんどの方から「満足した」という評価をいただく結果となりました。

平成28年11月2日(水)に、新潟県魚沼市では、「魚沼地域ビジネス交流会実行委員会」が主催して魚沼市堀之内体育館で開催されました。ここでは7事業者が参加し、百貨店等のバイヤーと面談を行いました。ここでは、ほとんどの参加者から「満足した」というアンケート結果を得ることができました。

また、平成28年11月9日(水)には、和歌山県田辺市で「田辺周辺広域市町村圏組合」の主催で、12の事業者が参加する「産品相談・商談会」が開かれました。さらに、平成28年11月16日

(水)・17日(木)の両日、千葉県銚子市「犬吠埼ホテル」で「株式会社農都共生総合研究所」の主催で「産品相談・商談会」が開催されました。19事業者へ3人のアドバイザーの面談が行われました。ともに、参加した事業者の皆様からは、「満足した」

というご意見をいただいております。

【お問い合わせ】
地域振興部 振興業務課
(産品支援事業担当)
☎03-6372-7305
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/hanbai/sanpin.html
✉hanbai@dengen.or.jp



丸亀市



魚沼市



田辺市



銚子市



産品実践販売のご案内

「産品実践販売」は、電源地域の特産品事業者の販売方向上を支援する事業です。消費費地においてテスト販売を行い、実施店からのアドバイスや消費者の反応を通じて、販売テクニックの習得や消費者ニーズの把握を図ります。「一般型」と「短期型」の2種類を用意しております。

「一般型」は大都市圏の百貨店や総合スーパー等の食品催事場で行うもので、「対面販売」が基本となっております。

現在、平成29年2月15日(水)から21日(火)までの7日間、福岡市の『博多大丸』での実践販売を募集しています。申込期限は平成29年1月6日(金)となっております。詳しくは、当センターまでお問い合わせください。「短期型」は、消費者と直接コミュニケーションを取ることができる「マルシェ」や商店街での実施となります。

【お問い合わせ】
地域振興部 振興業務課
(産品支援事業担当)
☎03-6372-7305
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/hanbai/sanpin.html
✉hanbai@dengen.or.jp